

「今後の国際環境協力の在り方について」の構成

「地球環境の保全と持続可能な開発のためのパートナーシップの構築」

世界的な枠組みづくりへの 戦略的な関与

世界的な枠組みづくりに積極的に関与
(淡水資源 土地管理 都市環境など)
気候変動枠組み条約の目的達成を
目指した対策の枠組みづくり。
JI や CDM などの活用のルール化に積
極的に関与

地域における 環境協力の枠組みづくり

政策対話などを通じ、相手国のニーズ
を把握、戦略的な環境協力の取組を
推進
企業、地域の環境管理能力の向上
(環境教育プログラムの開発、共同の
行動計画の作成)

目標 地球環境の保全と持続可能な開発を考えた環境
管理の仕組みの改善

重点的目標

- 1 国際的取組への積極的な関与
- 2 東アジアにおける環境管理の仕組みの改善

多様な主体による 国際環境協力

東アジア地域各国での地方分権の
動きを踏まえた我が国の地方公共団体
の経験・ノウハウの活用
同地域各国の NGO/NPO と協力し、
地域社会の環境意識の向上に取り組む
我が国の NGO/NPO の活動支援、政策
提言型 NGO/NPO の育成

国際環境協力 実施体制の強化

国内基盤(情報、人材、資金)の整備
体制の強化
・重要国際機関への戦略的な人材派遣
・我が国政府機関等の連携・調整
・積極的な取組を行っている自治体、企
業、NGO/NPO 等の主体間の情報共
有・協議の場の提供等

基本方針

- 1 世界的な枠組みづくりへの積極的な関与
- 2 東アジア諸国との協働に基づく協力
- 3 様々な主体による取組の促進・主体間の連携強化
- 4 必要な国内体制の整備
- 5 重点分野を考慮した協力

国際環境協力を進める上での配慮事項

- 1 成果重視・効率性の確保
- 2 公正性の確保
- 3 多様性への対応
- 4 国民各層の広範な参加